
魔法少女リリカルなのはStrikerS 漂流者の物語

ガルドモン

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

魔法少女リリカルなのはStrikers 漂流者の物語

【Nコード】

N0617N

【作者名】

ガルドモン

【あらすじ】

ある日、起きたら神様から、リリカルなのはの世界で無双をしてこいつて言われた…

そのほうがなんか楽しいから良いかと思っただけど、俺の能力じゃ無双は無理…とりあえず、できる限り楽しく物語を変えてみるか

…

00 プロローグ（前書き）

この小説が、初めての小説となります。

下手ですが、完結させられるようにがんばりたいです。

基本的に、声の会話は、「」で

念話は、『』で書く予定です。

00 プロローグ

アニメが好きだった…顔も平凡で、瞬発力はあるけど持久力が無い…ただそんな19歳だった…

そんな俺は、今までもこれから、生きていれば誰にでも起こりうる、そんな平凡な日々を過ごすのだと思っていた…

あの日までは…

『…ここは…どこだ…？』

普通にベッドに入って眠ってただけなのに…』

起きたら知らない場所にいた、あわれな青年の名前は魁人

『あ、起きた？』

「あんた誰？っていつかどっから、どうやって話しかけてんの？」

『俺？君の世界で言う、いわゆる神様で、君には念話で話しかけるの』

「念話って…『魔法少女リリカルなのは』じゃないんだから…」

『突っ込むのそこ！？神様ってどこに突っ込めよ！』

「いや…だってなんか突っ込んで結局神様で通りそうだから…」

『ま、いいや』

魁人も神様も、結構テキトーな性格らしい…

「んで、その神様が俺に何の用？」

『君、『魔法少女リリカルなのは』って知ってるよね？っていうか、知ってるやつ選んだんだから、知ってなきゃおかしいよね？』

「ああ…いちおうStrikersまでは見たが…それがどう関係あるんだ？」

『いや、俺もアレにはまっちゃったんだけどさ、ちょっと残念なところあるのよ』

「？一体何が？まさか、なのは達が負けたほうが良かったとか、訳のわかんないこと考えてるんじゃない？」

気に入らないとこと聞いて、バッドエンドを思い浮かべる魁人

『いや、そこまで鬼畜じゃないさ。ただ、もっと強い味方がいて、

無双とかしたら面白くない？」

「面白いかも…」

どうやらこの二人、物語のバランスって物を知らないようである…

『って訳で… 「俺があつちの世界に行つて、無双してくりゃいいんだな？」 … 台詞取るなよ…』

「行くのは、いつの時代から？」

『Strikersの時代から… あ、でも、もう少し前から行つてもらうかも』

「ああ、大体分かった」

『あんたはデイクイドか！』

「でも、無双してこいつてことは、デバイスとか特別なのくれるの？」

『ああ、でも、完全に無双だとならなくなりそうだからな… 一部に制限をかけとくけど、使いこなせば結構強いあげるよ』

「じゃ、くれ」

そういつた魁人の目の前に、光の玉が現れる

『デバイスの待機状態の形は決めてないから、君が想像した形にするよ』

「んじゃ…」

光は、小さな水色の機械 デジモンアドベンチャーで、デジヴァイスと呼ばれるアイテムの形に変化した

『じゃ、行ってらっしゃい。 君の冒険に、幸運を』

神様がそう唱えた瞬間に、魁人はどこかへ転送された・・・

00 プロローグ（後書き）

とりあえず、主人公のデバイスの能力は、第一話で明らかになる予定です。

デジヴァイスにしたのには、理由がありますが、もしかしたらこの小説ではその設定が余り意味のないものになるかもしれません。そうなったとしても、続編を書いて、そのときに明かせるようにしたいです・・・

一応、恋愛も入れるつもりですが、うまくいくかどうか・・・がんばって、少しずつ進めていくつもりです。

誤字、脱字、ミスがありましたら、教えてください。

01 到着？機動六課（前書き）

思った以上に、長くなってしまいました。

できる限り、一話を短くして、短いペースで更新、短い空き時間でも読めるようにするために、デバイスの紹介などが、できませんでした。

01 到着？機動六課

神様に、突然大暴れしてこいといわれ、突然どこかに転送された魁人…

彼は今…

文字通り落ちていた…

魁人「ちょ… 助けて〜〜！！」

アニメや漫画で、突然のピンチに、助けて！と叫ぶやつらの気持ちが分かった気がした…

たとえば、助けがなくなるとも、くるはずがなくなるとも、つい叫びたくなってしまうのである…

<マスター！ 早くセットアップを！>

魁人が腰につけている機械から声がする。

魁人が腰につけているのは、神様からもらった専用のデバイスで、普段はデジモンアドベンチャーというアニメに出てくる、デジヴァイスの形をとっている。

魁人「え？ あっ…セ、セットアップ！ 名前は…ブレイブハート！」

「stand by ready set up！」

セットアップされたブレイブハートが、どんな形になるのか魁人は期待したが…ブレイブハートは形を一切変えなかった あえて言うなら、色が水色から、オレンジに変わったくらいである。

魁人「えっ？これってセットアップ完了してるの！？」

<はい それより、早く飛んでください！ このままでは、地面に激突します。>

魁人「飛ぶってどうやって！？」

<空を飛ぶイメージです！>

魁人「こうか！？ んっ…」

魁人は、空を飛ぶイメージ、正確には、空に浮くイメージをする。

すると、その瞬間、彼の体は速度を低下して、空中に静止した…地上からわずか1mの高さで…

魁人「あぶね… このままだったら、暴れるどころか、誰とも会えずに終わってたわけか…」

魁人は、魔法を解き、地面に着地すると、辺りを見回した… 周りには、誰もいなかった。 ただ、目の前に建物がある以外は

魁人「ここ…どこ？ ミッドチルダなのか…？」

<ここは、ミッドチルダの機動六課前です。>

魁人は、それを聞いて、ここに入るべきか悩んだ…

（ここに入ったとして、おれはどういう扱いをされるんだ？ 下手したら、いきなり逮捕…あれ？目の前が…暗く…）

初めて魔法を使った負担は、思った以上に大きかったらしい

魁人はそのまま、気を失った…

01 到着？機動六課（後書き）

どうも、ガルドモンです。

相変わらずの駄文です。

ブレイブハートの名前の由来、デジモンを見たことのある人なら、分かる人も多いかも…

次話では、多少のバトル要素（っていうか、訓練）も入れるつもりなので、期待しないで待っててくださいww

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0617n/>

魔法少女リリカルなのはStrikerS 漂流者の物語

2010年10月8日13時12分発行